

神戸校区タウンミーティング開催報告

日 時	令和3年12月11日（土）19：00～20：30	
場 所	神戸公民館2階ホール	
参加者	<p>【地域側：16人】神戸校区連合自治会長、婦人会長、民生児童委員会、神戸駐在所長、防犯協会、交通安全協会、神戸小学校長、西条南中学校長、神戸小学校PTA会長、学校開放運営委員会、神戸長寿会会長、神戸消防分団長、社会福祉協議会長、青少年健全育成、神戸幼稚園園長、神戸防災士会会長</p> <p>【傍聴者：8人】</p> <p>【行政側：5人】市長、神戸公民館長、経営戦略部長、建設部長、教育委員会管理部長</p>	
次 第	<p>1 開会 2 挨拶（神戸校区連合自治会長）</p> <p>3 市長挨拶・事業説明</p> <p>4 意見交換：(1)校区内のインフラ整備 (2)買い物弱者対策（地域からの報告） (3)公民館建て替えに関する整備方針 （現状と課題説明及び参加者全員による話し合い）</p> <p>5 まとめ・閉会</p>	
概 要		
自治会長挨拶	<p>本日は、テーマを3つに絞り、議論をしていく。普段考えていることや提案があれば、この機会に積極的なご発言をお願いします。 いつまでも元気で明るく活気ある神戸地域にしていきたい。</p>	
市長事業説明	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス対策については、ワクチン接種の安全安心な環境整備と、市民生活を取り戻すため経済対策に重点を置く。 ・西条市の将来推計人口は30年間で約28%減少（2015年 108,174人 ⇒2045年 78,307人） ・人口減少対策として移住推進に力を入れており、みんなで「共創」して持続可能なまちを実現していきたい。 	
参加者の発言要旨		市の発言要旨（及び対応）
<p><道路安全について></p> <p>道路幅の狭い通学路や住宅街で、スピードを出した車が走行している。 歩行者の安全確保のために道の拡幅、もしくは「ゾーン30」の指定をおこなってはどうか。</p> <p>※「ゾーン30」：特定の区域（ゾーン）内に 時速30km以下の速度規制をかけるもの。</p>		<p>来年度は小学校から加茂川寄りにある「市道楠3号線」の一部拡幅を予定している。幅を拡げるには、地権者の同意が必要となるので、道路整備に関する要望がある時は、市も一緒に考えていきたい。 また、「ゾーン30」については、先日も小学校の通学路担当者から要望をいただいている。 警察とも協議し、「速度規制と物理的対応（ハンブ、狭さくなど）を適切に組み合わせた整備（＝ゾーン30プラス）を検討する」とのお答えをいただいている。</p>
<p>「ゾーン30」について、警察と協議中ということだが、いつ実施できるのか。 「ゾーン30プラス」になると、実施までにさらに時間を要する可能性があるため、まずは時速30kmの速度規制から先行的に検討していただきたい。</p>		<p>実施時期は未定である。 ハンブ（スピード抑制のために道路の路面に設けられた凸部）は騒音が出るため、設置する場合には沿線にお住まいの方の協力も必要になる。 ご意見を参考に警察や地元の方々と協議を進める。</p>
<p>「通学路注意」の看板設置など対応してくれているが、国道11号線の南側の対策もお願いしたい。 伊曾乃神社付近の道は陥没したり、停止線などの白線が薄くなったりしている。 また、国道194号線沿いの水管橋辺りでは、加茂川の方から木の枝が伸びており、大型車は避けて通ることがあるので、危険である。</p>		<p>児童が犠牲になった先般の交通事故を受け、市独自の予算措置により、通学路の緊急安全対策を行っている。「通学路注意」の路面標示や看板設置、白線の引き直しを実施中である。 また、小学校、PTA、警察、教育委員会、道路管理者等で構成する「西条市通学路安全推進連絡協議会」で通学路の点検・危険箇所の対策を行っている。学校周辺を優先して行っているが、外側線は市で引き直しできるので、詳しい場所をお教えいただきたい。 停止線は、警察が計画的に順次引き直している。 国道194号の管理については、市から管理者である県に要望する。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><空き家対策について> 空き家が増えており、敷地内から伸びた木がミラーを隠し、通行に支障が出ている。 市と協議しながら、剪定を実施した。 今後、空き家は更に増えると思うが、撤去や整地をするにも費用負担が発生するので、早い段階で対策をとってもらいたい。</p>	<p>まず第一義的に、持ち主の責任において管理していただかなければならない。市でも西条・周桑宅建協会と連携した「空き家バンク」やシルバー人材センターと連携した「空き家等管理代行サービス」を紹介しているところである。 地域の空き家について、皆さんの方がよくご存知だと思うので、情報を寄せていただきたい。所有者を確認し、連絡するなど市でも対応していく。</p>
<p><市への要望・苦情について> 課によっては、苦情や要望が内部で蓄積・共有されていない。複数課に関係する場合、別の課に行く度に同じ説明を繰り返さなければならない。 担当者変更や時期が経過しても、きちんと対応できるようにお願いしたい。</p>	<p>至らぬ点があったこととお詫びする。 ご指摘のように、苦情や要望はデータ管理する体制が必要だろう。 課によって対応が異なってはいけないので、職員間で共有するよう対応していく。 また、広聴制度もあるので活用してほしい。</p>
<p><買い物支援について> 地区内にあったスーパーや商店が閉店し、運転ができなければ買い物に行くことにも不便を感じる。 そんな中、フジグラン西条が『おまかせくん』という移動販売サービスを実施しており、いくらかカバーできるようになった。 しかし、利便性を考えると、できれば空き店舗等を活用して常設の店舗がほしいと思っている。</p>	<p>ローソンと橘未来づくり協議会が連携して移動販売を実施したところ、非常に喜ばれた。 一方、事業者側としては利用者がいなければ、営業し続けるのは困難だろう。 各事業者が移動販売をすることで、地域の皆さんにとって利便性が高まる一方で、事業者間の競争が激しくなると思うので、地域の皆さんで使い続けようという気持ちを大切にしていきたい。</p>
<p><公民館の整備について> 昨年のタウンミーティングに引き続き、このテーマで議論したい。 すぐに整備というのは難しいとのことだったが、照明が暗かったり、床が冷たかったり、トイレも使いづらく、設備は劣化している。 整備の方法はいくつかあると思うが、早く形にして、皆さんが安心して利用できるようにしてほしい。</p>	<p>① 現公民館の規模縮小で建て替え ② 現公民館の長寿命化改修 ③ 神戸小学校との複合化 この3つのプランで検討しているが、皆さんと一緒に話合い、活発な意見をいただきながらより良いものをつくっていききたい。</p> <p>教育委員会では、現在、学校施設の長寿命化工事に順次着手している。令和元年度から5年度まで（第1期）に着手する5校は、飯岡小、神拝小、丹原小、大町小、小松小である。 令和6年度以降（第2期）の実施校は未定だが、経過年数的に神戸小も対象となる。 上記③は、この長寿命化工事に合わせて、家庭科室（調理室）や図書室、音楽室を1階に配置し、地域の方との共用施設とする案である。 また、（仮称）東部給食センターの供用開始（令和7年9月予定）に伴い、不用となる給食室スペースに、利用実態に応じた規模の新たな公民館（会議室やホール、事務室、駐車場等）を整備することができていると考えている。 神戸小との複合化案は、地域とともにある学校づくり（コミュニティスクール構想）を進める中、学校と地域が一体になって子どもを育む新たな環境づくりのモデルとしても期待できる。第2期の長寿命化計画で優先的に取り組みたいと考えており、ぜひご検討いただきたい。</p>

参加者の発言要旨	市の発言要旨（及び対応）
<p><新たな施設の案について> 複合化する場合、公民館の具体的な規模は決まっているのか。平屋になるのか。2階建てであるなら、エレベーターは付くのか。</p>	<p>レイアウト等は、今後皆さんと話し合う中で検討していきたい。 想定では、平屋で規模を縮小し、現在の約6割ほどの延べ床面積になるかと思う。</p>
<p>現在、公民館のホールを使用して、軽スポーツ教室などを行っている。参加人数が多い時は、ホールでは狭いため、小学校の体育館を利用している。 普段から学校開放で体育館を利用する方は大勢いるので、複合化によって、このホールの面積が小さくなってしまうと活動継続が難しくなるのではないかと懸念している。</p>	<p>複合化になっても、公民館単独でホールや会議室等のスペースは確保したい。 具体的な面積などは、今後、皆さんから利用状況を教えていただきながら、検討していきたい。</p>
<p><複合化における課題について> 学校の敷地内に公民館が設置された場合、市民が自由に出入りできるようになる。 学校では普段から不審者対策を行い、校門も閉鎖しているが、公民館は不特定多数の方が利用する施設であるため、セキュリティの強化が必要である。不審者は地域外、遠くから車でやって来るといった傾向もある。 例えば、大阪教育大学附属池田小学校や隣接する学校安全推進センターなど、セキュリティに優れた施設を視察し、外部からの侵入にしっかり対応できる施設にしていきたい。 また、音楽室などの共用スペースは、地域の方の利用と学校の授業で調整が必要になる。場合によっては、学校活動での急な使用や、長期間使用することも考えられる。</p>	<p>複合化を検討する中で、セキュリティ対策は重要視している。 学校校舎とは別棟に公民館の事務室を設け、市民の方が学校施設を使用する場合には、事務室で申請を行っていただく想定である。 また、事務室から常に入口付近が見えるような配置にしたり、時間に応じて学校の階段にシャッターを降ろしたり、共用スペースの利用調整についても全国の成功事例を参考にしながら、対策を考えていく。 皆さんと一緒に視察に行きながら、神戸小学校・公民館を複合化のモデルにしたい。 学校・地域の皆さんには、引き続き、一緒に話し合いを進めていただくようお願いする。</p>
<p><高齢者福祉施設について> 高齢者が増え、地域で見守ることが大事になってくる。健康でいてもらうために、神戸にも高齢者福祉施設や地域交流センターを設置してほしい。</p>	<p>3年に1度西条市高齢者福祉計画・介護保険事業計画（現在第8期）の見直しをしている。高齢者数等を勘案し、サービス種別ごとのバランスを見て、本市にどのような施設が必要であるかを検討することになっている。 高齢者福祉施設の設置については、事業者側に検討していただくことになるが、神戸地区でご要望をいただいたことは、伝えていく。 また、健康づくりでは、今後の公民館の機能にも含めながら、皆さんに参加していただきやすいよう、力を入れていく。</p>
<p>まとめ</p>	<p><市長> 公民館については、今あるこの地で新しく、という地域の方の思いもあろうかと思うが、我々は20年先の姿を描きながら、ジャッジしていかなければならない。この西条市を次の代にバトンタッチできるようにその方向を定める決意である。そうは言いながら、皆で一緒になって考え、アイデアを出し合いたい。この会をきっかけに、また公民館のあり方を寄せていただき、良いものをこの神戸でつくりたい。</p> <p><連合自治会長> 公民館の新たなプランが出され、びっくりもしたが、皆さんの意見を聴いていると、良いものができるなら、それも良いと感じた。昨年までは、どうしてもこの場所で、という意見も多かったかと思うが、少し変わってきたかを感じる。 複合施設はこれからの時代の施設に違いない。今後もっと議論をしなければならないが、この施設が神戸という地域を全国に発信できる好機とし、皆で良いものをつくっていききたい。</p>

<当日の様子>

